

別記様式第1号の2の2の2の3 (第4条の2の8、第51条の16関係)

① 防火対象物 点検報告特例認定申請書
防災管理

② 令和〇年〇月〇日

吉川松伏消防組合消防本部
 消防長 殿

③ 管理権原者

住所 吉川市〇〇番地

氏名 (株)吉松商事 代表取締役 吉松 太朗

電話番号 048-982-3931

下記のとおり、④ 防火対象物 点検報告の特例の認定を受けたいので申請します。
防災管理
 記

防火 管 理 又 は 防 災 管 理 対 象 物	所在地	⑤ 吉川市大字会野谷481番地		
	名称	⑥ 〇〇ビル		
	管理権原	⑦ <input type="checkbox"/> 単一権原 <input checked="" type="checkbox"/> 複数権原	複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称	⑧ 居酒屋〇〇吉川店
	用途 ^{※1}	⑨ 飲食店	令別表第1 ^{※1}	⑩ (3)項口 収容人員 ^{※1} ⑪ 20人
	令第2条を適用するもの ^{※2}	名称	令別表第1	収容人員
		()項		
		()項		
申請者が管理を開始した年月日	⑫ <input checked="" type="checkbox"/> 防火対象物 〇〇年 〇月 〇日 <input type="checkbox"/> 防災管理対象物 年 月 日			
前回の特例認定年月日	⑬ <input checked="" type="checkbox"/> 防火対象物 〇〇年 〇月 〇日 <input type="checkbox"/> 防災管理対象物 年 月 日			
その他必要な事項	⑭ 3階及び4階 居酒屋〇〇吉川店			
受付欄 ^{※3}		経過欄 ^{※3}		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 2 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
 3 ※1欄は、複数権原の場合にあつては管理権原に属する部分の情報を記入すること。
 4 ※2欄は、消防法施行令第2条を適用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに記入すること。欄が不足する場合は、任意で書類を作成し添付すること。
 5 防火対象物又は防災管理対象物の所在地、管理権原者が防火対象物又は防災管理対象物の管理を開始した日その他市町村長が定める事項を記載した書類を添付すること。
 6 ※3欄は、記入しないこと。

防火・防災管理者選任（解任）届出書 記入要領

項目	記入要領
①防火対象物・防災管理	「防火対象物・防災管理」のうち該当する項目の□印にレをつけます。
②年月日	届出書の提出年月日を記入します。
③管理権原者	当該防火対象物等の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入します。 法人の場合は、法人の住所、名称、代表者の職・氏名を記入します。 個人企業の場合は、住民登録のしてある住所とします。
④防火対象物・防災管理	「防火対象物・防災管理」のうち該当する□印にレをつけます。
⑤所在地	当該防火対象物等の所在地を記入します。
⑥名称	当該防火対象物等の名称を記入します。 例：「〇〇株式会社」「〇〇銀行××支店」「××ビル〇階〇×商事」など
⑦管理権原	当該防火対象物について、管理権原が分かれていない場合は「単一権原」、分かれている場合は「複数権原」の□印にレをつけます。
⑧複数権原の場合に管理権原に属する部分の名称	防火対象物全体について管理権原が分かれている場合は、申請者の事業所等の名称を記入します。
⑨用途	当該防火対象物又は事業所の用途を消防法施行令別表第1に掲げる用途区分により、「飲食店」、「事業所」等の要領で記入します。
⑩別表第1	⑨で記入した用途について、消防法施行令第1に記載されている用途により、「(3)項ロ」、「(15)項」等の要領で記入します。 建物の共用部分については、建物全体の用途を記入して下さい。
⑪収容人員	申請者の事業所等の収容人員を記入します。
⑫申請者が管理を開始した年月日	消防法第8条の2の2第1項の防火対象物として、申請者が管理を開始した日を記入します。 防火対象物の管理を開始した日から3年が経過していることを確認できる書類として、次のいずれかの書対を添付して下さい。 ・不動産登記簿謄（抄）本 ・賃貸借契約書の写し ・防火対象物使用開始届出書の写し
⑬前回の特例認定年月日	前回の特例認定の効力が生じた日を記入します。
⑭その他必要な事項	申請者の事業所等の存する階、店舗名等を記入します。